

長崎医技専とリハビリテーション病院

臨床実習で連携強化

長崎市の長崎医療技術専門学校(愛宕1丁目、淡野義長校長)と長崎リハビリテーション病院(銀座町、鬼塚伸也院長)は本年度、同病院が「主たる実習施設」として同校の生徒を受け入れる「臨床実習等に関する契約」を結んだ。リハビリ職に携わる人材の安定的育成や質の高い医療提供を目指し、人材交流の活性化など連携強化を図る。

2020年から適用された国の「理学療法士作業療法士養成施設指導演方ガイドライン」に基づく契約で、県内三つのリハビリ系専門学校では初。高齢社会に伴う医療需要の増大などで理学療法士と作業療法士に求められる



臨床実習で指導役の理学療法士(左)からひびの可動域を測る際のポイントを学ぶ生徒

長崎市の長崎リハビリテーション病院

ふるさと

総

合

人材育成や質の高い医療提供へ

役割や知識が変化する中、国は20年から新カリキュラムを導入。同ガイドラインでは臨床実習の質の向上を目指し、養成施設への近接など要件を満たす「主たる実習施設を置くことが望ましい」と規定した。

同校には1日現在、理学療法と作業療法の2学科3学年に計184人が在籍。県内外延べ約400の医療機関で臨床実習を受けている。同病院はこれまでも臨床実習の場として同校の生徒を受け入れてきたが、作業療法士でもある淡野校長が昨年3月まで同病院に在籍していた縁で、今年8月下旬に契約を締結。両者が連携することで、同校の教員は臨床の現場への理解をより深めることができ、生徒が同病院に就職した場合には切れ目のないサポートが期待できる。

同病院教育研修部の中島龍星部長は「臨床の現状を先生が知った上で指導してもらうことで学生が就職した時に役立つのでは。一緒に人材を育てたい」。淡野校長は「連携が深まれば教育の質の向上が期待でき、学生や卒業生のフォローもやりやすくなる。最新の技法の勉強会なども開き、相互発展を目指したい」と語る。

(袁川裕之)

「島原道路」早期完成

諫早と島原半島3市長 国交省

諫早市と島原半島3市の市長らは9日、高規格道路「島原道路」について、諫早市小野町―長野町(約3.5キロ)の事業化など早期完成を国土交通省に要望した。大久保潔重諫早市長、古川隆二郎島原市長、金澤秀三郎雲仙市長、松本政博南島原市長のほか、各市協議議長らが国交省を訪れ、吉岡幹夫事務次官に要望書を手渡した。

島原道路は、諫早市中心部(長崎自動車道諫早インターチェンジに接続)と南島原市深江町を結ぶ約50キロの自動車専用道路。全線開通すれば島原半島の産業や観光の活性化、救急医療圏の拡大などが期待される。唯一の未着手区間である小野町―長野町の早期事業化や事業区間の一層の整備促進を

幻の「陶貨幣」が50万枚見つかる

京都の工場跡地倉庫

造幣局(大阪市)は9日、金属不足の戦時中に製造された「陶貨幣」約50万枚が京都市の製陶工場跡地の倉庫から見つかり、引き渡しを受けたと発表した。造幣局によると、陶貨幣は実際には流通せず多くが廃棄されたため「幻の貨幣」と呼ばれる。大量に見つ



「陶貨幣」発見者(左)と造幣局関係者(右)ら。発見場所は京都市の製陶工場跡地倉庫。発見は9日、造幣局が発表した。

れるのは珍しい。見つかった陶貨で、木製の陶貨の製造がいし・陶「松風工業」の工場跡地関連会社で、希少の状態を調べるなど、見

10月10日

歳 4年

6キロ爆

さ左手で顔を覆う。指の間の血管部分にガラスが